

- 1 日時 平成16年9月8日(水)第5校時
- 2 講座 3年選択国語 男子5人 女子8人 計13人
- 3 主題 『平家物語』を読む

4 主題とその目標

学習指導要領では古典の指導について、「古典としての古文や漢文を理解する基礎を養い古典に親しむ態度を育てるとともに、我が国の文化や伝統について関心を深めるようにすること」とある。そして、その教材としては「易しい文語文や格言」「親しみやすい古典の文章」とある。『平家物語』は、武士の勇壮な姿やものの考え方、仏教の無常観を基調とした情け深い心情などが語られ、昔から親しまれている作品であり、古典の基礎を養い、古典に親しむためには最適の教材であると考え。特に今回の講座では、有名な部分の一つである「敦盛の最期」を取り上げることにした。

まず、音読することによって、歴史的仮名遣いや古文特有の語句の読みを理解する。さらに登場人物の言動に注意して繰り返し読み、その置かれている状況や心情を考え、登場人物の気持ちやものの考え方・生き方等が聞き手に伝わるように、グループで役割分担をし、その役になりきって朗読する。この学習を繰り返し行なうことによって、難しい古文の語句や仮名遣いが分ることはもちろん、「自ら考える力」、個々の思いを表現する「伝え合う力」も培われるものと考え。そして、古人のものの見方・考え方に対して興味・関心を持ち、国語の基礎・基本の定着が図れると考える。

5 生徒について

授業前後のあいさつの声が大きく、何事にも意欲的に取り組む生徒である。特に教科書の音読が好きで、古文の暗唱等にも積極的に取り組む。しかし、自らの考えや意見を表現する場面では今ひとつ積極性に欠ける部分もある。「テストにでてくる古文は何が書いてあるのかよく分らない。」と古典に対する苦手意識が強い。また、文章の流れにそって登場人物の心情や主題をとらえる問題の誤答が多く、昨年度の学習定着度状況調査の結果では、「人物の考えについて文脈から読み取る」の正答率が20パーセントと低く、「人物の心情をとらえ、主題を考える」「主人公の人物像を読み取る」も50パーセント以下であった。それは、文章の流れにそって理解し、考えをまとめ、表現する力が不足しているのではないかと考える。

そこで、古文についても、歴史的仮名遣い等の知識面の指導はもちろんであるが、登場人物になりきって繰り返し音読することによって、文脈に即して人物の心情をとらえ、主題を考え、表現(朗読したり、自分の言葉でまとめて発表したり)できるように指導したい。

6 主題の指導構想

まず、前半・後半部分に分けて、現代語訳を参考に内容をとらえ、音読練習をする。その中で自分がやりたい役割(敦盛、直実のセリフ・説明部分など)を見つけ、その役割ができるようまわりと話し合っグループを決める。そのグループで、さらに音読練習をし、登場人物の置かれている状況や心情を文脈にそって考え、それが聞き手に伝わるように登場人物になりきって、朗読で表現する。登場人物になりきって表現することによって、登場人物の心情やものの考え方に対する理解が深まるものと考え。さらに、個々の発表について、自己評価や相互評価をすることによって、自分の学習の振り返りをさせたい。

7 目標

- ・ 繰り返し音読することによって、登場人物の生き方やものの考え方について理解を深め

ることができる。

- ・ 場面の状況や登場人物の心情が表れるように、工夫して朗読することができる。
- ・ 古文特有の語句や歴史的仮名遣いについての理解を深めることができる。

8 評価規準

[国語への関心・意欲・態度]

・ 繰り返し音読することによって、登場人物の生き方やものの考え方について理解を深め、自分と比べて考えていこうとする。

[話す・聞く能力]

・ 登場人物の生き方やものの考え方について自分なりの感想や意見を持ち、話し合ったり、聞きあったりする。

[書く能力]

・ 登場人物の生き方やものの考え方について自分なりの言葉で感想を書く。

[読む能力]

・ 場面の状況や登場人物の心情が表れるように、工夫して朗読する。

[言語についての知識・理解・技能]

・ 古文特有の語句や歴史的仮名遣いについての理解を深める。

9 主題の指導計画 (「コース別指導計画」参照、本時 16 時間目)

10 本時の指導

(1) 本時の到達目標

- ア 古文をしっかり読み、登場人物(とくに熊谷次郎直実)の武士として手柄を立てたい気持ちと人間として敦盛を助けたいという心の葛藤をとらえる。
- イ 登場人物になりきり、その気持ちが聞き手に伝わるように工夫し、感情を込めて音読することができる。

(2) 本時の指導構想

歴史的仮名遣いや古文特有の言葉に注意しながら、古文で書かれた部分を読み、登場人物(熊谷次郎直実・平敦盛)の心情を考える。特に、熊谷次郎直実の武士としての務めと一人の父親として敦盛を助けたいという心の葛藤をとらえさせたい。その上で、各自が、どんな読みをしたいかを発表する。それにそって、登場人物になりきり、登場人物の心情が聞き手に伝わるよう工夫して朗読させたい。

(3) 本時の評価の観点

- ア 古文をしっかり読み、登場人物(とくに熊谷次郎直実)の武士として手柄を立てたい気持ちと人間として敦盛を助けたいという心の葛藤をとらえることができたか。
- イ 登場人物になりきり、その気持ちが聞き手に伝わるように工夫し、感情を込めて音読することができたか。

11 本時の展開

段階	教師の働きかけ	過程	生徒の学習活動	指導 / 支援上の留意点 () 評価 ()
導入	1 前時の学習内容を想起させる。	課題把	1 前時の学習内容を想起する。	
5	2 本時の学習内容を提示す			

分	る。	握	2 共通学習課題の把握。	
展 開 3 5 分	<p>3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>登場人物の心情を考え、登場人物になりきって音読しよう。</p> </div> <p>音読練習。前時の他からの評価を参考に、音読の仕方を考えさせる。 場面の情況をとらえ、登場人物の心情を考えさせる。 聞き手に、場面の情況や登場人物がどんな人かが伝わるように音読を工夫するように指示する。</p> <p>4 グループごとに発表させる。</p>	課 題 追 求 課 題 解 決	<p>3</p> <p>音読練習。前時の他からの評価プリントを参考に読みを吟味する。</p> <p>源平合戦の様子を調べたものを発表。発表とテキストの描写から場面の情況を考え、登場人物の心情をとらえる。</p> <p>聞き手に、場面の情況や登場人物がどんな人かが伝わるように音読を工夫する。</p> <p>4 グループごとに発表する。</p>	<p>発表プリントの確認</p> <p>歴史的仮名遣いがしっかり読めるか。 古語の意味をとらえ発表しているか。 登場人物の心情について自分の言葉で発表することができたか。 他からの評価を参考にし、音読で工夫した点を発表することができたか。</p>
終 末 10	<p>5 自己評価・相互評価をさせる。 次時の予告</p>	ま と め	5 自己評価・相互評価をする。	

評価規準表 国語（3年選択 『平家物語』を読む）

時数	到達目標 (必修教科との関連)	具体の評価規準				
		関心意欲態度	話す・聞く	書く	読む	言語について
1～2	自分にあったコースを選択し、プレテストにより基礎・基本がどの程度定着しているか把握できる。	A詳しく書ける B自己評価できる				A 85% B 7割正解
3	(前半部分の音読)自分の課題を持ち、学習計画を立てることができる	A書いたものを発表できる Bシートにきちんと書ける				
4	歴史的仮名遣い、漢字、古文特有の言葉について、読みと意味がわかる(2年教科書「古典を楽しむ」)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く			Aすらすら読める B正しく読める	A説明できる B正しく読める
5	役割分担をし、場面に合った音読を工夫する。	A発言、Bプリントに記入			Aすらすら、B正しく読める	
6	登場人物になりきり、音読できる。相互評価や自己評価できる(2年教科書「古典を楽しむ」)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く	Aまわりから評価される B工夫して読める		A感情込めてよめる B大きな声ではっきり	
7	中間評価テストにより、これまでの学習を振り返る。				A 85%、B 7割正解	A 85% B 7割正解
8	(後半部分の音読)自分のやりたい役割ができるようなグループづくりをする(3年教科書「古典を味わう」)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く	A積極的に発言 Bよく相談、教えあい		A感情込めて読める Bすらすら読める	
9	歴史的仮名遣い、漢字、古文特有の言葉について、読みと意味がわかる(3年教科書「古典を味わう」)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く			Aすらすら読める B正しく読める	A説明できる B正しく読める
10	文章中の表現から、登場人物のものの考え方、生き方についてとらえる(3年教科書「古典を味わう」)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く	A積極的に発言 Bよく相談しメモする		A根拠あげて読み取れる B人物の気持ちを読み取れる	
11	登場人物の気持ちが表れるような音読を工夫することができる(3年教科書「古典を味わう」)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く			A感情込めて読める Bすらすら読める	
12	(全文の音読)これまでの内容や歴史的背景から、登場人物のおかれている状況や心情を考える(3年教科書)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く			A根拠あげて読み取れる B人物の気持ちを読み取れる	
13	全文を通して、登場人物の気持ちが表れるような朗読ができる(3年教科書「古典を味わう」)		A根拠あげ説明している		A根拠あげて読み取れる	B人物の気持ちを読み取れる
14			B気持ちを考え発表			
15	グループで話し合い、朗読の工夫をすることができる(3年教科書「古典を味わう」)	A発言・他に教えられる Bよく読みプリントに書く	Aリーダーシップとれる Bよく相談しメモする		A声の調子・間など工夫あり B感情込めて朗読している	
16	登場人物になりきって、その気持ちが伝わるように朗読することができる(3年教科書「古典を味わう」)		A根拠あげ説明している B人物の気持ちを考えて		A声の調子・間など工夫あり B感情込めて朗読している	
17	お気に入りの部分や登場人物について感想をまとめる	A感情表現Bきちんと書く		A自分の言葉でまとめているBきちんと書いている		